

# 財務諸表に対する注記

令和6年3月31日現在

## 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品・貯蔵品……最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
建物・車両運搬具・什器備品……定額法によっている。  
無形固定資産の減価償却の方法  
ソフトウェア……法人内における利用可能期間(5年)に基づき定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。  
賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法  
・所有権移転外ファイナンスリース取引  
ア 有形リース資産の内容 職員貸与のノート型パーソナルコンピュータ65台である。  
イ リース資産の減価償却の方法 リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	82,492,957		40,838	82,452,119
基本財産定期預金	10,000,000			10,000,000
小計	92,492,957	0	40,838	92,452,119
特定資産				
退職給付引当資産	177,866,023	61,010,519	21,547,472	217,329,070
小計	177,866,023	61,010,519	21,547,472	217,329,070
合計	270,358,980	61,010,519	21,588,310	309,781,189

## 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	82,452,119	(65,452,119)	(17,000,000)	—
基本財産定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
小計	92,452,119	(75,452,119)	(17,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	217,329,070	(0)	(0)	(217,329,070)
小計	217,329,070	(0)	(0)	(217,329,070)
合計	309,781,189	(75,452,119)	(17,000,000)	(217,329,070)

- 4 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。  
 (単位:円)

種別及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第143回利付国債	17,000,000	18,430,890	1,430,890
第143回利付国債	15,000,000	16,262,550	1,262,550
30-1 浜松市公債	14,975,264	14,793,000	△ 182,264
第132回利付国債	9,985,104	10,879,890	894,786
第152回利付国債	40,467,015	41,571,280	1,104,265
第160回利付国債	29,929,371	28,966,890	△ 962,481
第160回利付国債	4,988,235	4,827,815	△ 160,420
合 計	132,344,989	101,937,610	4,510,227

- 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減計算及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金などの名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 LPガス価格高騰対応支援金	一般社団法人 熊本県LPガス協会	0	230,000	230,000	0	—
助成金 令和4年度補正予算文化芸術振興費助成金	公益社団法人全国公立文化施設協会	0	7,187,335	7,187,335	0	—
合 計		0	7,417,335	7,417,335	0	

- 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。  
 (単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息	890,200
合 計	890,200

- 7 関連当事者との取引はない。  
 8 重要な後発事象はない。

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細  
 基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記に記載している。

- 2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	32,076,000	33,756,000	32,076,000	0	33,756,000
退職給付引当金	177,866,023	61,010,519	21,547,472	0	217,329,070